

## 社団法人 日本吹奏楽指導者協会（JBA）

### 平成22年度 事業計画

（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）

#### 1 吹奏楽教育に関する講習会・研修会等の開催

##### （1）第29回吹奏楽ゼミナール

趣旨と目的：新しい吹奏楽指導のあり方を研究し、次代を担う吹奏楽指導者を育成し、吹奏楽の普及と指導者の技術・音楽性の向上を目的とする。また、バンド指導法全般について学校教育のカリキュラムの編成上、手薄な事項を実践的に講習することにより、学校教育を補い、更に生涯学習の場としても社会的に意義の高い講習会である。吹奏楽の第一線で活躍している講師を迎え、基礎から応用まで各受講者に適したコースを設定し、技術・音楽性の向上と、教育的な効用に重点を置いたゼミナールを実施する。

主催：社団法人日本吹奏楽指導者協会

後援：文部科学省、洗足学園音楽大学・洗足学園短期大学、  
社団法人全日本吹奏楽連盟、神奈川県吹奏楽連盟（予定）

コース内容：上級・中級Ⅰ・中級Ⅱ・入門・学生リーダーコースの5コース（予定）

講座内容：リハーサルクリニック・指揮法・編曲法・合奏指導法・楽器指導法

時期：平成22年12月28日（火）～30日（木）（予定）

場所：洗足学園音楽大学（神奈川県川崎市）

参加予定人数：150名

受講料：（予定）

上級コース	29,400円（JBA会員 19,950円）
中級コースⅠ	29,400円（JBA会員 19,950円）
中級コースⅡ	29,400円（JBA会員 19,950円）
入門コース	29,400円（JBA会員 19,950円）
学生リーダーコース	大学生 19,950円 / 高校生 17,850円

##### （2）指揮法講習会

趣旨：我が国の吹奏楽は、近年めざましい発展を遂げ、その演奏レベルも向上してきた。一方、吹奏楽を指導している指揮者にとって、バンド指導のため正しい指揮法を習得する機会を得ることは困難な状況にある。本講習会は、（財）日本音楽財団の協力を得て、我が国第一線で活躍する指揮者を講師として派遣して直接指導を行うことにより、吹奏楽指導者が気軽に質の高い講習を受けられる機会を設け、幅広く指導者を育成することを目的とする。実施内容は、指揮法の基本と応用について、体系的かつ実践的に講習し、指揮技術の習得及び音楽性の向上を図り、次代を担う吹奏楽指導者の育成と我が国吹奏楽の振興を図る。

期 間：平成22年10月～同23年2月までの期間で6ヶ所開催

主 催：社団法人日本吹奏楽指導者協会

協 力：財団法人日本音楽財団

講 師：紙谷一衛・川本統脩ほか

開催予定：

- |          |                |                     |
|----------|----------------|---------------------|
| ①東海支部    | 平成22年11月13日(土) | 名古屋芸術大学(愛知県北名古屋市)   |
| ②東北支部    | 平成22年11月14日(日) | 酒田市希望ホール(山形県酒田市)    |
| ③関東甲信越支部 | 平成22年12月19日(日) | 朝霞市立朝霞第一中学校(埼玉県朝霞市) |
| ④関西支部    | 平成23年1月29日(土)  | 会場未定(奈良県)           |
| ⑤九州支部    | 平成23年2月5日(土)   | 熊本県立劇場(熊本県熊本市)      |
| ⑥北海道支部   | 平成23年2月6日(日)   | 函館市芸術ホール(北海道函館市)    |

参加予定：各会場 約30名 合計 約180名

受講料：(予定) 会員 ¥3,000, 一般 ¥5,000

## 2 吹奏楽教育に資する指導者の資格認定及び吹奏楽器演奏技能の検定

### (1) 第25回吹奏楽指導者資格認定試験

趣旨及び内容：吹奏楽指導者の知識及び技能を客観的に評価することにより、吹奏楽指導者としての社会的資格を認定するとともに、指導者の技術・音楽性の向上に資する。認定資格のグレードを1級から3級に区分し、筆記試験及び実技試験により判定する。なお、合格者には社団法人日本吹奏楽指導者協会から認定証を交付する。

主 催：社団法人日本吹奏楽指導者協会

後 援：洗足学園音楽大学・洗足学園短期大学

協 力：洗足学園音楽大学学生モデルバンド

受験資格：満20歳以上(3級のみ満18歳以上)の吹奏楽指導経験者で、それぞれ下記事項を満たしている者、またはこれと同等の資格を有するとJBAが認めた者とする。

- ・1級認定 JBA会員で、かつJBA主催の「JBA吹奏楽ゼミナール上級コース」を修了し、2級(旧中級)認定に合格している者
- ・2級認定 JBA主催の「JBA吹奏楽ゼミナール上級または中級コース」のいずれかを修了した者
- ・3級認定 JBA主催の「JBA吹奏楽ゼミナール」のいずれかを修了した者

試験内容：理論筆記試験・編曲作品審査・合奏実技試験・指揮実技試験・小論文  
ただし、3級は理論筆記試験・指揮実技試験及び小論文のみ

受験方法：①5科目(3級は理論筆記試験・指揮実技試験及び小論文のみ)全て受験する事が望ましいが、1科目だけの受験も可能

②認定証を取得するためには、5科目全て（3級認定は理論筆記試験・指揮実技試験及び小論文のみ）に合格する必要がある。

③これまでに認定試験を受けて科目合格している者は、科目合格している者は、合格していない科目のみを受験すること。

参加予定：35名（予定）

受験料：各級別に上記試験課目毎に1,050円～10,500円

開催日：平成22年12月30日（木）（予定）

会場：洗足学園音楽大学（神奈川県川崎市）

## （2）吹奏楽器（管・打楽器）演奏技能検定

趣旨と目的：主として中・高校生を対象とした吹奏楽器の演奏技能検定で、1級から6級（初級）まであり、各々の級に応じて課題曲と学科（楽典）の試験を行う。さらに、この検定は受験者自ら目標を決めて課題に挑戦することにより自分を鍛え、音楽の知識や技術或いは教養を身につけて、社会人となっても音楽を心の糧として豊かな人生を送れるように企画されたものである。しかし、今年度も課題曲及び検定方法の見直しを図るため、検定は休止する見通しとなっている。

## 3 吹奏楽教育に関する国際交流の実施

◇第16回APBDA（アジア太平洋吹奏楽指導者協会）への参加

趣旨：ユネスコからも認められている吹奏楽の世界的組織である、WASBE（世界吹奏楽会議）の会員であるアジア・オセアニア参加国10ヶ国が集まりAPBDA（アジア太平洋吹奏楽指導者協会）を設立し活動している。活動内容は吹奏楽に関する研究発表・講演・コンサート等が企画され、アジア圏内に於ける吹奏楽のレベル向上及び吹奏楽に携わる人々の人的交流を図っている。この会議は1年おきにアジア各国にて開催されている。

開催時期：平成22年7月25日～28日（4日間）

開催地：香港

会場：香港クイーンエリザベススタジアム・星光大道

参加者：JBA役員2名

日本からのバンド出場：未定

## 4 吹奏楽生涯学習及び社会教育事業の推進

◇社会人バンドフォーラム

趣旨：21世紀は社会人バンド（一般社会人による吹奏楽）が吹奏楽界における演奏活動の主流となると考えられており、日本各地で活動している社会人

バンドの育成・レベル向上を目標に企画されたフォーラムである。今年度はJBA通常総会の当日に、同じ会場で開催する。

内 容：演題 基調講演「音楽の力を捨てないで」  
講師 JBA関東甲信越支部長 紙谷一衛 氏  
主 催：社団法人日本吹奏楽指導者協会  
開催時期：平成22年6月27日（日）  
場 所：加賀観光ホテル（石川県加賀市）  
参加人数：（予定）JBA会員中総会出席者50名

## 5 吹奏楽教育に関する出版物の刊行

### (1) 『吹奏楽紀要』（論文集）の発刊

協会会員相互の研さんのため、また、吹奏楽に関心を持つ社会人、あるいは後輩育成のために、会員各自の考えや経験・調査研究したことを研究論文集としてまとめて年1回発刊する。今年度は6月に第16号を発刊予定。

### (2) 機関誌『ウインド・フォーラム』の発行

協会の会員同志の情報交換及び活動計画とその状況報告等、年3回程度機関誌を発行して、協会活動の活性化と会員の意識高揚を図る。今年度は、第92号（平成22年5月）、第93号（同9月）、第94号（平成23年2月）発行予定。

## 6 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### (1) 日本吹奏楽発祥記念演奏会

趣 旨：明治2年に横浜の本牧山妙香寺において、薩摩藩士32名に対しイギリス陸軍軍楽隊長J.W.フェントンが指導したのが日本吹奏楽の発祥である。平成元年9月15日、日本吹奏楽指導者協会が中心となって、吹奏楽界から広く浄財を集め、その地に建立したのが「日本吹奏楽発祥の地」の碑である。これを記念して当協会が主催して、毎年この演奏会を実施している。

開 催 日：平成22年10月11日（祝・月）

場 所：本牧山妙香寺（神奈川県横浜市）

主 催：社団法人日本吹奏楽指導者協会

主 管：社団法人日本吹奏楽指導者協会 東京神奈川部会

共 催：神奈川県吹奏楽連盟、本牧山 妙香寺

出 演：横浜市消防音楽隊（予定）ほか

### (2) 第15回「全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト」の開催

趣 旨：管楽器及び打楽器を演奏する中・高校生の技術向上を図り、併せて吹奏楽

全般を発揚し啓蒙することを目的とする。

①ソロコンテスト本選開催予定

開催時期：平成23年3月25日（金）（予定）

場 所：アクトシテイ浜松 中ホール（静岡県浜松市）

主 催：浜松市、（財）浜松市文化振興運営財団、日本高等学校吹奏楽連盟

共 催：浜松市教育委員会、（社）日本吹奏楽指導者協会 等 5 団体

②構成と参加者

ア) 中学生部門及び高校生部門の2部門

イ) J B Aの各支部長から推薦された各部門3名以内の中・高校生

ウ) J B Aとして、各部門上位3名の入賞者に盾を授与

③各地区の選抜要領

各支部の特性により、それぞれ選抜方法は異なっている。

支部名	時期（予定）	選抜方法
北海道	平成22年11月	北海道支部主催の地区大会で選抜
東 北	平成23年 2月	東北支部主催の地区大会で選抜
関東甲信越	平成23年 2月	関東甲信越支部主催の地区大会で選抜
東 海	平成23年 2月	東海支部で選抜
北 陸	平成22年11月	北陸支部主催の地区大会で選抜
関 西	平成23年 2月	関西支部主催の地区大会で選抜
中 国	平成22年10月	中国新聞実施のコンテスト上位者から選抜
四 国	平成23年 2月	四国支部主催の地区大会で選抜
九 州	平成23年 2月	九州支部主催の地区大会で選抜

(3) 吹奏楽楽曲開発（下谷奨励賞）

趣 旨：昭和50年度より毎年、J B A顧問でもある株式会社千修代表取締役会長  
下谷隆之氏のご厚意により実施してきた吹奏楽作品・新曲「下谷賞」は、  
平成19年度から作品募集による審査を取り止め、今後は「“21世紀の吹  
奏楽” 実行委員会」と連携し、同委員会が主催する“響宴” に選ばれた作  
品の中から、優れた作品に対して「下谷奨励賞」を贈っている。

審査方法：平成22年3月22日に開催される第13回“響宴” に選ばれて演奏され  
た中から4作品（うち2作品を下谷奨励賞、他2作品を佳作）を選考する。  
受賞作品の発表は4月中旬予定。

表 彰：平成22年度J B A総会時に表彰、賞金（ただし、佳作は表彰のみ）を贈  
呈する。

(4) 吹奏楽学会の開催

趣 旨：毎年総会開催時に、会員の研鑽に資するため、「吹奏楽学会」として講演会  
あるいは研究発表会を開催している。

開催時期：平成22年6月27日（日）

場 所：加賀観光ホテル（石川県加賀市）

内 容：「軽騎兵序曲」を題材とした音楽表現について

講師 JBA関東甲信越支部長 紙谷一衛 氏

モデルバンド 小松市民吹奏楽団

#### （5）後援・協賛事業

斯界の諸団体が事業を行うにあたり、JBAの後援、協賛等の名義使用の申請があった場合、それが吹奏楽発展のために有意義と認められれば、名義使用を認めている。

#### （6）JBA人材バンクの設置

趣旨及び内容：社団法人日本吹奏楽指導者協会は、吹奏楽指導者である会員が、各自の専門分野において知識と経験を生かして青少年の音楽教育、情操教育のため力を尽くし、次世代の指導者の識能向上に資するとともに、生涯にわたって音楽を愛好する生涯学習の基盤を醸成することを目的とし、JBA人材バンクを設置した。吹奏楽の各分野において豊富な専門知識と技能を有する指導者を登録し、その情報を提供する。登録者は、全員JBAの会員で指揮者、吹奏楽指導者、楽器指導者、作・編曲家及び吹奏楽教育家等であり、本事業の主旨に賛同して登録申込をした会員の中で、JBA人材バンク委員会の「推薦指導者選考基準」に合致した指導者のみを掲載した「推薦指導者名簿」を2年に一度発行している。

#### （7）バンドの日

趣旨と目的：一般化した「バンド」（楽器演奏）文化を社会に広く正しく認知させることにより、将来への基盤を確かなものにするためにJBAが制定した「バンドの日（11月3日）」に関する啓蒙活動を行う。

○JBAがリーダーとなり、全ての関連組織・団体、教育機関、楽器・音楽業界に呼びかけ賛同を得る。

○啓発運動として行う

- ・経費をかけずに地道に呼びかける運動を展開する。
- ・吹奏楽だけでなく、ブラスバンド、マーチングバンド、ジャズバンド、ロックバンドなど幅広く参加を呼びかける。
- ・既存のイベントにも参加を呼びかける。

（例）駅コン、パレード、公園コンサート、クリニック、セミナー、楽器フェア、フェスティバル等。

○ロゴマークを設定・認知を円滑に進めるためロゴマーク及びステッカー等を設定してPRに利用することも検討する。